

10月27日付ロイター通信記事「Egypt named Outsourcing Destination of the Year at the 2008 National Outsourcing」の要訳

エジプト、2008年最優秀アウトソーシング先に出選される

ナショナル・アウトソーシング・アソシエーションは27日、エジプトを最優秀アウトソーシング先に出選した。同分野でライバル国のフィリピンやルーマニアを抑えての受賞。

授賞式に参加したエジプト情報通信開発庁のアブデラジム長官は、「エジプトは徐々にではあるが、確実にグローバル・サービスの業務委託先としての地位を固めつつある。エジプトの総人口に占める若年層の割合は高く、その多くは数カ国語を話す。インフラ整備やコスト面での競争力が高く、アウトソーシング先として非常に魅力的だ」と述べた。

ロンドンで開催された授賞式には350人以上の企業幹部や業界関係者が参加した。

審査員もエジプトの受賞理由として語学力の高さや若い人口構造、アウトソーシング先としての実績などを挙げている。エジプトは近年、欧州のアウトソーシング先としての評価が高まっている。

今年で5回目を迎える同賞は情報技術(IT)、ビジネスプロセス、通信、金融、公益事業分野のアウトソーシングにおける成功・貢献度を基に受賞国を決定する。

その他、米調査会社ヤンキー・グループはレポートの中で、「エジプトは中東諸国で最もアウトソーシング・ブームの恩恵を受ける可能性を持っている」と評価した。米投資顧問会社ソロンズはアウトソーシング先として、カイロを新興国50都市中7位に出選した。コンサルティング会社A.T.カーニーも報告書「Global Services Location Index」の中で、エジプトを13位に出選している。

エジプトはビジネス環境の整備に注力しており、その結果すでにボーダフォン、IBM、マイクロソフトなどグローバル企業が同国に進出している。